

2 単元の評価規準

算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解
○ ブロック操作と対応させて筆算の仕方を考えようとしたり、減法のきまりを活用しようとしたりする。	○ 減法の筆算は位ごとに計算するとよいことに気付き、図や式などを用いて表現しながら、計算の仕方を考えることができる。	○ 簡単な3位数までの減法で、繰り下がりなしや、繰り下がりありの筆算をすることができる。	○ 簡単な3位数までの減法の筆算で、位ごとに計算することの意味を理解する。

3 単元計画 (全13時間)

次	学習活動	教科の評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価基準 (評価方法)
一	<p>課題設定・情報の収集・整理</p> <p>ブロックを操作して、繰り下がりのない筆算の仕方を考える。(1)</p> <p>繰り下がりのない筆算との違いを見つけ、繰り下がりのある計算の仕方を考える。(1)【本時】</p> <p>繰り下がりのある筆算を練習する。(2)</p>	<p>減法の筆算形式が加法と同様な形で表せることを類推し、筆算の仕方を考えている。</p> <p>【考】(ノート, 発言)</p> <p>ブロック操作と対応させながら、十の位から1繰り下げて計算する方法を考えている。【考】(ノート, 発言)</p> <p>差が1位数になる筆算や、繰り下がりのある筆算ができる。【技】(ノート, 発言)</p>	<p>十のまとまりで考え、十の位から一繰り下げて計算する方法を考えている。</p> <p>【論理的思考力】(ノート)</p>
二	<p>整理・表現</p> <p>百の位から十の位へ繰り下がる筆算の仕方を考える。(1)</p> <p>2回繰り下がりがある筆算の仕方を考えている。(1)</p> <p>被減数の十の位が0の時の筆算の仕方を考える。(1)</p>	<p>百の位から繰り下げて計算すればよいことを、図や式を用いて考えている。</p> <p>【考】(ノート, 発言)</p> <p>十の位、百の位の順に繰り下げるとよいことに気付いている。</p> <p>【関・意・態】(ノート, 発言)</p> <p>百の位から繰り下げて計算する方法を考えている。【考】(ノート, 発言)</p>	<p>図や式などを用いて表現しながら、計算の仕方を考えることができる。</p> <p>【論理的思考力】(ノート)</p>
三	<p>まとめ・表現</p> <p>3桁の引き算を筆算で計算する。(2)</p> <p>減法の計算結果を、加法を用いて確かめる。(1)</p> <p>ふりかえり</p> <p>色々な筆算や虫食い算に挑戦する。(1)</p>	<p>百を単位として計算できることを理解している。【知・理】(ノート, 発言)</p> <p>減法が加法の逆算であることと、計算の確かめに利用できることを理解している。【知・理】(ノート, 発言)</p> <p>虫食い算をして計算への興味・関心を高めている。【関・意・態】(ノート, 発言)</p>	

4 本時の展開

(1) 本時の目標

繰り下がりのある(2位数) - (2位数) の計算の仕方をブロック図で考えることができる。

【数学的な考え方】

(2) 本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法) ○教科の指導事項
つかむ	1 問題場面から、たずねていることや分かっていることを考え立式する。	<ul style="list-style-type: none"> ・減法(求算)の場面であることをつかませる。 ・問題場面を簡単な言葉の式で考えさせる。 ・筆算で計算すればよいことに気付かせる。 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">一の位が引けないときの計算の仕方を考えよう。</div>		
考える	2 一の位が引けないときの計算の仕方を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・計算しようとするとき、一の位が引けないというところに焦点をあてて、どうすれば計算できるか考えさせる。 ・$7-5$にすると、問題の意味が変わってくることを、言葉の式から理解させる。 	
深める	3 どのような方法で考えたかを明らかにさせる。 4 一の位同士が引けない時は、なぜ十の位から1繰り下げるとよいのか考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロックを操作して考えたのか、図にかいて考えたのかを明らかにさせる。 ・十の位と一の位に分けて考えるということが一目で分かるような、構造的な板書にする。 ・十の位から1繰り下げるという用語とその意味を理解させる。 ・1繰り下げた場合、十の位のブロックの数はどうなるのか、考えさせる。 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロック図は、位を揃えて書きます。 ・$5-7$はできないので10をもってきます。 ・十のまとまりを、一のばらにして考えると良いと思います。 ・そうすると、$10+5$は15になって、7を引くことができます。 ・$15-7$は8で、一の位は8になります。 ・十のまとまりが一つ減ったので、十の位は3になりますね。 ・$3-2$は1で、十の位は1になります。 ・十の位が1、一の位が8なので答えは18枚になります。 </div>		
ふりかえる・まとめる	5 学習のまとめをする。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">一の位が引けないときは、十の位から1繰り下げで計算する。</div>		

<p>6 適用題を解く。</p> <p>7 次時への課題をもち、本時の学習を振り返る。</p>	<p>・31-18の計算をブロック図で考えさせる。</p> <p>・数がかわっても、同じように計算することができるのか、次時への課題をもたせる。</p>	<p>○ 十のまとまりで考え、十の位から一繰り下げて計算する方法を考えている。 【考え方】 (ノート、発言)</p>
<p>・今日の学習では、ブロックを使って計算の仕方を考えることができました。</p> <p>・初めは7-5をすれば計算できると思っていたけれど、友達の発表を聞いて、間違いに気がきました。</p> <p>・5-7ができないから困ったけど、10のまとまりの勉強を思い出して考えられました。</p> <p>・図にかいて考えたことを、隣の人に話したら、同じ考えだったから面白かったです。</p> <p>・一繰り下げたことを忘れないように、ブロック図に斜め線や数を書き込むことが大事だなと思いました。</p>		

5 板書計画

6/13 ひきざんのひっさん

㊦一の位が引けないときの計算の仕方を考えよう。

色紙が45まいありました。
27まいつかいました。
のこりは何まいですか。 ひきざん

ことばのしき

あった数 - つかった数 = のこりの数

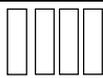
しき 45-27

5-7ができない

(よそう)

10のまとまりを、1のばらにする。

【ブロックず】

十のくらい	一のくらい
	 5
↓	
十のくらい	一のくらい
	 15
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">1くり下げる</div>	
十のくらい	一のくらい
	 8
3-2=1	15-7=8
こたえ 18まい	

① 十のくらいから1くり下げる。

② 一のくらい
15-7は8

③ 十のくらい
3-2は1

㊦一のくらいがひけないときは、十のくらいから1くり下げてけいさんする。

6 単元末の評価問題

テスト (5 ひき算の ひっさん) 名前: _____ 組: _____

1 ひっ算で しましょう。(各3点)

① 77-23 ② 80-46 ③ 93-7

④ 154-88 ⑤ 103-76 ⑥ 261-35

2 教室で、めだかを 30びき かって います。そのうち、おすは 13ひきです。めすは 何びき いるでしょうか。(各10点)

しき _____ 答え _____

3 赤い 画用紙が 32まい あります。青い 画用紙は、赤い 画用紙より 4まい 少ないです。青い 画用紙は 何まい あるでしょうか。(各10点)

しき _____ 答え _____